

「下地島空港活性化協議会」を開催しました

～羽田発着枠政策コンテスト枠の獲得に向けて、最後まで地域×航空会社の取組を推進します～

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)(※)は2月13日(月)に第11回「下地島空港活性化協議会」を開催しましたので、お知らせします。

(※)本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織です。

【第11回 下地島空港活性化協議会】における主な報告・協議事項】**① 下地島空港の現況**

- ・ 引き続きコロナ禍にあるものの、2022年度4～1月、各月において月間利用者数を更新。
- ・ 冬季閑散期に入っているものの、各種施策の効果により各路線共に高い利用率を継続。
- ・ 2023年3月26日よりジェットスター成田線が再開。
- ・ 2023年7月1日よりスカイマーク福岡線が新規就航。
- ・ コロナによって運休となった国際線の再開、誘致に係る営業活動を推進。

② 羽田発着枠政策コンテスト関連

- ・ コンテスト提案内容の取り組み事項(主に2次交通の改善、スポーツ合宿の誘致、サステイナブルな観光地づくり)に関する今年度の進捗確認や評価・検証の実施。
- ・ 評価対象期間(22年3月27日から1年間)が終わりを迎える一方で、引き続き誘客及び受入環境整備に向けた各種施策の取り組みを継続することを確認。

第11回協議会の冒頭、会長を務める宮古島市の座喜味市長より以下の通り挨拶がありました。

「いよいよ羽田発着枠政策コンテスト枠の獲得に向けた評価対象期間も3月末までとあとわずかとなったが、羽田＝下地島線を暫定運航から「恒久」運航にすべく、最後まで地域一丸となった取り組みを推進し、当路線が宮古島にとって不可欠であることを伝えていきたい。」

その後、下地島エアポートマネジメント株式会社より下地島空港利用状況について報告がありました。

- ・ 2022年冬期スケジュールの運航状況
- ・ 2023年夏期スケジュールの運航計画(新規路線のスカイマーク福岡線含む)
- ・ 2022年度の利用者数推移
- ・ 今後の航空営業戦略、既存路線利用促進に向けたプロモーション活動
- ・ 航空貨物取扱状況
- ・ 国際線誘致に向けた営業状況

続いて、協議会メンバーにて以下内容が行われました。

- ・ 航空路線の維持・拡大に向けた施策についての意見交換。
- ・ 羽田発着枠政策コンテストにて提案を行った取組みに掛かる進捗状況の共有。
＜主な内容＞
 - ① 島内2次交通の拡充のため宮古島市が実証実験中の宮古島ループバスや、タクシー不足解消のため新たに実施する乗合タクシー実証実験に関すること
 - ② 冬季閑散期対策として実施しているスポーツ合宿の誘致状況や、予約を含めた件数が目標の50団体を超えたこと
 - ③ 持続的な宮古島観光の実現を目指し、宮古島観光協会により「サステナブルツーリズムのガイドライン」が策定されたこと
- ・ 羽田発着枠政策コンテストの評価対象期間(22年3月27日から1年間)が終わりを迎える一方、来年度も引き続き誘客及び受入環境整備に向けた各種施策等の見直しや今後に向けた協議を行うことを確認。

本協議会は、今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古諸島のさらなる活性化を目指します。

【第11回下地島空港活性化協議会の様子】



■ 第11回「下地島空港活性化協議会」概要

日時： 2023年2月13日(月)14:00～15:30

場所： 宮古島市役所会議室

出席者： ●「下地島空港活性化協議会」会員

座喜味 一幸 宮古島市長(協議会会長)

大城 清剛 沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課長(協議会事務局)

新城 武一郎 宮古島商工会議所 専務理事

平山 茂治 (一社)宮古島観光協会 専務理事

伴野 賢太郎 下地島エアポートマネジメント株式会社 代表取締役社長